

第36回全国自治体政策研究交流会議 川崎大会 第37回自治体学会 川崎大会

統一テーマ

「神奈川・川崎から問う 自治・地域の未来」

2023 8/25(金) ~ 8/26(土)



等々力緑地



競技場でハイタッチ

(写真提供：川崎市)

大会参加・情報交換会・エクスカージョン等のご案内

25日
(金)

○第36回全国自治体政策研究交流会議 川崎大会

会場：カルッツかわさき ホール
(川崎市川崎区富士見 1-1-4)
主催：川崎市 共催：自治体学会

○第37回自治体学会川崎大会 研究発表セッション・表彰式・情報交換会

会場：カルッツかわさき 1階会議室
川崎市教育文化会館 会議室
(川崎市川崎区富士見 2-1-3)
川崎商工会議所
(川崎市川崎区駅前本町 11-2)
主催：自治体学会 共催：川崎市

26日
(土)

○第37回自治体学会川崎大会 総会・分科会等

会場：カルッツかわさき 1階会議室
(川崎市川崎区富士見 1-1-4)
川崎市教育文化会館 会議室
(川崎市川崎区富士見 2-1-3)
主催：自治体学会 共催：川崎市

26日
(土)
}
27日
(日)

○第37回自治体学会川崎大会 エクスカージョン

主催：自治体学会

「神奈川・川崎から問う自治・地域の未来」

第 36 回全国自治体政策交流会議 ごあいさつ

第37回自治体学会の大会開催をお慶び申し上げるとともに、第36回全国自治体政策研究交流会議の主催及び自治体学会の大会開催都市を代表して、全国各地から川崎にお越しくださいます皆様方を心から歓迎いたします。

また、阿部理事長をはじめ、自治体学会の皆様、関係者の皆様方におかれましては、日頃から地方自治やまちづくりに関する研究・交流を通じて、地方自治の発展に多大なる御尽力をいただいておりますことに深く敬意を表します。

川崎市は、生産年齢人口の割合が政令指定都市1位という、若い世代が支える活気ある都市です。これまで工業都市として栄え、現在では研究開発機関の集積や交通・物流の高い利便性、豊富なスポーツ・文化芸術資源等、様々な個性と魅力を持つまちとして発展を遂げており、2024年には市制100周年の記念すべき節目を迎えます。

このような中、今回の政策研究交流会議では「スポーツ×SDGsによるまちづくり」をテーマに、スポーツを通じた持続可能な地域づくりの大いなる可能性等について議論を深め、全国の自治体の発展や御参加の皆様の豊かな暮らしに貢献する機会としたいと考えております。

御参加の皆様が、本大会を通じて、研究と交流を大いに深めていただくことを期待するとともに、大会の御盛会、関係者の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

川崎市長 福田 紀彦

第 37 回自治体学会川崎大会 ごあいさつ

第 37 回自治体学会川崎大会の開催にあたり、4年ぶりとなる対面での大会開催に向けてご尽力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

川崎大会は、もともとは2021年度に開催されるはずでした。ところが、新型コロナウイルス感染症の流行が終息しなかったために、同年度の大会はオンラインでの開催とせざるを得ませんでした。2020年度の大会もオンラインでの開催でしたから、2度目のオンラインでの開催です。そして、2021年度すなわち昨年度の大会も、オンラインでの開催でした。3年連続して、オンラインでの大会開催を余儀なくされたこととなります。もちろん、オンラインでの大会開催にも、それなりの意義や価値はあります。インターネットに接続可能な環境であれば、どこからでも参加できることは、オンラインで大会を開催することの、大きなメリットです。また、ウェブ会議システムの進化と、会員の皆さまのウェブ会議システムへの習熟とにより、同じオンラインでの開催であっても、2020年度よりは2021年度のほうが、そして、2021年度よりは2022年度のほうが、より充実した大会になりました。

しかし、この3年間は、一堂に会することの意義を、改めて深く実感させられた3年間でもありました。オンラインでも、各地の自治体での先進事例について、興味深い報告を聞くことはできますし、それを踏まえて、これからの地方自治が目指すべき方向について、思索を深めることもできます。その一方で、新たな知己を得ることは、オンラインでは困難です。分科会の後や情報交換会での、初対面の会員との名刺交換に始まる対話は、対面での大会でなければ不可能です。そして、2019年度までは、何よりもそうした出会いを期待して、大会に参加してきた会員が少なくなかったように思われます。そうした会員にとっては、まさに待ちに待った対面での開催です。私自身も、そうした会員の一人です。4年ぶりの対面での大会開催への喜びを表明し、ごあいさつとさせていただきます。

自治体学会理事長 阿部 昌樹
(大阪公立大学教授)

《開催概要》

■ 第36回全国自治体政策研究交流会議 川崎大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月25日(金)	13:00 開場・受付開始 14:00 開会挨拶・基調講演 「川崎市が推進する“スポーツ×SDGs”によるまちづくり」 福田 紀彦 川崎市長 14:30 パネルディスカッション第1部 「スポーツ×地域づくりのSDGs」 登壇者 黒木 透 (株)川崎フロンターレ管理部企画担当マネージャー 隠岐 洋一 (株)DeNA川崎ブレイブサンダースSDGsプロイクター 岡田 理恵 NEC(株)スポーツ推進部アシスタントディレクター 片倉 哲史 川崎市市民文化局市民スポーツ室担当課長 コーディネーター 高木 超 川崎市SDGs推進アドバイザー (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教)	○川崎市スポーツ・文化総合センター (カルッツかわさき) 〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4 TEL.044-222-5211 JR川崎駅(北口東)、京急川崎駅から徒歩約15分 川崎駅東口バスターミナルからバス5分	参加費 無料
	15:50 パネルディスカッション第2部 「スポーツ×地域経済のSDGs」 登壇者 桂田 隆行 (株)日本政策投資銀行地域調査部課長 小井 陽介 川崎とどろきパーク(株)代表取締役社長 コーディネーター 高木 超 (再掲) 16:30 閉会		
	18:45 自治体学会賞表彰式 ～ 20:00 情報交換会	川崎商工会議所(JR川崎駅、京急川崎駅前)	参加費 5,000円

■ 第37回自治体学会川崎大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月25日(金)	16:45 研究発表セッション ～ 18:15 A:文化とまちづくり B:自治体と職員 C:地域活性化 D:災害 E:共生 F:法と政策 G:参加・協働	○川崎市スポーツ・文化総合センター (カルッツかわさき) 〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4 TEL044-222-5211	参加費 【会員】 3,000円 【非会員】 6,000円
8月26日(土)	9:30 自治体学会総会(9:30～10:15) 10:00 受付開始 10:30 分科会 第1部(10:30～12:30) 1 「デジタル田園都市国家構想」とのつき合い方 2 コミュニティのありたい姿と支える自治体政策 ～持続可能な地域社会づくりに向けて～ 3 自治体職員による本来業務以外の活動について考える Part2 4 社会的価値を反映させた公共調達の可能性～人権尊重の対応を契機として～ 12:30 (昼食・休憩) ポスターセッションコアタイム(12:50～13:30) 13:45 分科会 第2部(13:45～15:45) 5 地方公務員の定年延長と役職定年制を考える ～組織活力低下の危機にどう向き合うか～ 6 地域公共交通(ローカル鉄道)の再編における分権と自治 7 少子高齢化・人口減少時代の「創造都市・創造農村」 8 (地元企画)子どもの権利条約と子どもを取り巻く「いま」 9 (公募企画)議会からの政策立案をすすめるには ～執行部と議会はどう協働するか～ 15:45	○川崎市教育文化会館 〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見2-1-3 TEL044-233-6361 上記2施設とも JR川崎駅(北口東)、京急川崎駅から徒歩約15分 川崎駅東口バスターミナルからバス5分	
	10:00～16:00 ポスターセッション(コアタイムは12:50～13:30)	○カルッツかわさき	

■ エクスカーション

日 程	内 容	参加費
8月26日(土)	Aコース 川崎臨海部の変貌、工場夜景とキングスカイフロント、多文化共生のまちづくりコース (8月26日～27日)	A: 22,000円
～ 27日(日)	Bコース 三浦半島の「小網代(こあじろ)の森」を歩く!源流から海までまるごと保全された生態系を体験するコース(8月27日)	B: 1,500円

第36回全国自治体政策研究交流会議 川崎大会

2023年8月25日14時～16時30分
カルッツかわさきホール

メインテーマ: スポーツ×SDGsによるまちづくり

基調講演

テーマ 川崎市が推進する“スポーツ×SDGs”によるまちづくり

内容 川崎市のスポーツ政策はまちの変化とともにあった。かつてプロスポーツチームが根付かないまちと言われた川崎市がいかにして「スポーツのまち」へと変貌を遂げたのか。
川崎市の過去、現在、未来を市長が語ります。

川崎市市長 福田 紀彦

講演者



1972年生まれ。川崎市宮前区出身。高校生活、大学生活を米国で送った後、1995年に衆議院秘書となる。神奈川県議会議員、神奈川県知事秘書、早稲田大学マニフェスト研究所客員研究員を経て、2013年に川崎市市長に就任(現在3期目)。

パネルディスカッション【第1部】

テーマ スポーツ×地域づくり のSDGs

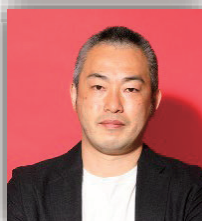
内容 川崎市に本拠地を置くスポーツチームが、住民やまちを豊かにするために市とともに進めてきた活動について、考え方や実践事例、将来展望、地域発展のポイントなどを熱く語り合います。

登壇者



(株)川崎フロンターレ管理部企画担当マネージャー
黒木 透

2002年に富士通(株)に入社。Jリーグの統合CRMプラットフォームの構築やデジタル化、マーケティング支援を担当。2018年より(株)川崎フロンターレでSDGsを含めた新規事業企画に従事。



(株)DeNA川崎ブレイブサンダースSDGsプロジェクトリーダー
隠岐 洋一

新卒で旅行会社の勤務を経て、2008年にDeNAに入社。別会社での経験の後、2019年に川崎ブレイブサンダースに参画。現在は法人営業およびSDGsプロジェクトを担当。

登壇者



NEC(株)スポーツビジネス推進部 アシスタントディレクター
岡田 理恵

NECレッドロケットの元選手。スポーツ庁と連携した競技力向上事業の支援担当を経て、2022年にNECに再入社。現在はチームのマネジメントや地域連携に従事。



川崎市市民文化局市民スポーツ室担当課長
片倉 哲史

パネルディスカッション【第2部】

テーマ スポーツ×地域経済 のSDGs

内容

日本のスタジアムは市民生活、地域経済を豊かにするための多世代交流拠点へと変貌を遂げる。日本のスタジアムが、そして全国的な先行事例として等々力緑地がどのように再編されるのか、最新の構想をお伝えします。

登壇者



(株)日本政策投資銀行地域調査部 課長 桂田 隆行

電力業、化学業、ホテル・旅館業等への融資等を経て、現在スタジアム・アリーナを活かしたまちづくりやスポーツ産業市場の企画調査等を担当。スポーツ庁をはじめ各種委員を務める。



川崎とどろきパーク(株) 代表取締役社長 小井 陽介

1990年、東京急行電鉄株式会社(当時)入社。財務、不動産投信、人事、鉄道経営などの業務に従事し現在に至る。「日本一 笑顔あふれる 公園へ」をスローガンに掲げる。

パネルディスカッション【第1部・第2部を通じて】

コーディネーター



川崎市SDGs推進アドバイザー 高木 超
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教

NPO等を経て、2012年から神奈川県大和市役所の職員として住民協働等を担当。17年に退職後、米国クレアモント評価センター・ニューヨークでSDGsを研究。19年4月から現職。現在、様々な自治体のSDGs政策についてアドバイザーを務める。

大会統一テーマ

「神奈川・川崎から問う自治・地域の未来」

◎第1日 8月25日(金)

＜研究発表セッション (16:45～18:15)＞

会員が自治の諸課題に取り組む実践報告や研究成果などを発表し、会場の参加者と議論を深めます。

※司会・コメンテーターはいずれも調整中

セッションA：文化とまちづくり 1 福井 弘教 共生社会における人とペットー川崎市の動向に焦点をあててー 2 櫻井佳奈子 東京都の遺跡公園の実態と今後のあり方に関する考察 3 小泉 京子 古民家を利活用した滞在型観光とまちづくりー島根県出雲市を事例としてー
セッションB：自治体と職員 1 吉田 雄大 過疎地域からの「卒業」に関する考察～卒業自治体の分析から～ 2 大里 学 職員の創造性発揮のための、基礎自治体職場環境に関する研究
セッションC：地域活性化 1 御正山邦明 地方公共団体のスポーツ政策とまちづくりー埼玉県熊谷市を中心事例としてー 2 田島 健 東京都内の官民連携によるエリアマネジメントの実態と今後の展開に関する考察 3 古賀 敬作ほか SDGs×地域の魅力発信による都市部地域活性化のかたち ーSDGs イベントプランニング活動の理論と実践ー
セッションD：災害 1 高田 昭彦 行政の補完としての災害ボランティア活動 ー2019年台風19号 川崎市災害ボランティアセンターの私的検証ー 2 上山 肇 防災まちづくりにおける情報環境整備に関する実証実験 ー埼玉県戸田市の取り組みー
セッションE：共生 1 青木 優子 東京都における多文化共生政策の実態に関する考察 2 早川 諒 熊本市における多文化共生施策の実態に関する一考察 3 未定 コロナ禍における「見えない困窮」の現状把握と対応策
セッションF：法と政策 1 石田 真 超高齢化社会における行政不服審査法の課題～介護保険審査会を題材にして～ 2 鈴木 洋昌 レジ袋有料化義務化の政策過程に関する一試論 ～自治体モデルが影響を与えたのか～ 3 滝本 直樹 議員提案政策条例の方向性に関する一考察 ～条例を介した法律の積み残し課題への対応を題材として～
セッションG：参加・協働 1 橋本 佳明 自治体の政策形成における市民参加手法に関する考察 ー東京都三鷹市第5次基本計画策定プロセスを事例としてー 2 高橋 誠 北方領土返還要求運動への物語論的アプローチ

＜自治体学会賞表彰式・情報交換会 (18:45～20:00)＞

(会場：川崎商工会議所)

◎第2日 8月26日(土)

<分科会 第1部

(10:30~12:30) >

分科会 1 「デジタル田園都市国家構想」とのつき合い方

岸田内閣は新たな地方政策として、デジタル田園都市国家構想を進めている。「デジタル技術を活用し、全国のどこでも誰でも便利で快適に暮らせる社会」を目指すという。2023年度から国、自治体がそれぞれ策定する総合戦略に基づき関連事業を展開する。

端的に言って、地方創生の焼き直しである。自治体は地方創生と同じように総合戦略に沿って、交付金を使った事業に励むのだろう。地方創生は、はかばかしい成果を残していない。その検証をせずに「デジタル」に看板をかけ替えて、地方に何をもちたらすだろうか。自治体の目的意識は明確だろうか。

地方創生の問題点、昨今の国と自治体の関係を踏まえ、地方はデジタル田園都市国家構想とどう向き合うべきかを議論したい。

- ◎パネリスト 今井 照 (地方自治総合研究所主任研究員)
- ◎パネリスト 小林 華弥子 (公共政策アドバイザー、元由布市議会議員)
- ◎パネリスト 氷室 健太郎 (福岡県広川町長)
- コーディネーター 前田 隆夫 (西日本新聞論説委員)

分科会 2 コミュニティのありたい姿と支える自治体政策
～持続可能な地域社会づくりに向けて～

人口減少・少子高齢化が進む中で持続可能な地域社会づくりに向けて、コミュニティの重要性は都市部・農村部に関わらない共通事項である。都市部では、主にテーマ型コミュニティにより多様な住民が地域社会を支えているものの、きめ細かな地域での支え合いなど地縁型コミュニティの再構築が必要になっている。一方、農村部では、主に地縁型コミュニティが中心となり地域社会を支えているが、担い手の確保や専門性の不足などの不安を抱えているため、住民主体の多様なテーマ型コミュニティを育み、連携を図っていくことが必要になっている。

コミュニティの在り方は、時代とともに変化しながら、地域特性に応じたカタチを模索していく必要があるなか、地縁型とテーマ型それぞれの強みを学びあい、持続可能な地域社会づくりに向けたコミュニティのありたい姿とそのポイントを探る。また、こうしたコミュニティを支援する自治体政策について持続可能性を視点に探る。

- ◎パネリスト 小野寺 浩樹 (いちのせき市民活動センター長、
NPO 法人レスパイトハウス・ハンズ理事)
- ◎パネリスト 中村 茂 (川崎市市民文化局長)
- ◎パネリスト 馬袋 真紀 (朝来市企画総務部総合政策課課長補佐、与布土地域自治協議会会長)
- コーディネーター: 石井 大一郎 (宇都宮大学地域デザイン科学部准教授)

分科会 3 自治体職員による本来業務以外の活動について考えるPart2

本分科会のテーマは 2021 年度の熊本大会で実施した分科会の続編で「自治体職員による本来業務以外の活動について考える Part2—プロボノ・副業は地域貢献とスキルアップを両立できるか?—」とした。昨年度の分科会では、本来業務以外の活動としての副業(兼業)における有償/無償を特に問わなかったが、今年度はとりわけ無償性の高いプロボノ・副業に焦点を当てたい。というのも、近年は神戸市の地域貢献応援制度に見られるように、純粹に地域貢献と職員のスキルアップに資する副業(兼業)が広がる一方で、農業分野における副業など、地域貢献ではあるが、ややもすれば「農業の労働不足解消」「その場しのぎ的」にすぎない動きも広がっているためである。

今年度は、この問題を一度立ち止まり検討する上でも、無償性の高いプロボノ・副業を本来業務以外の活動として展開する事例に絞り、議論を深めていく。

- ◎パネリスト 奥貫 賢太郎 (有限責任監査法人トーマツリスクアドバイザー 事業本部ガバメント & パブリックサービスーズシニアスタッフ、一般社団法人大師 ONE 博顧問)
- ◎パネリスト 嵯峨 生馬 (認定 NPO 法人サービス Grant 代表理事)
- ◎パネリスト 立石 建 (横浜市経済局副局長)
- コメンテーター 嶋田 暁文 (九州大学大学院法学研究院教授)
- コーディネーター 杉岡 秀紀 (福知山公立大学地域経営学部准教授)

分科会 4 社会的価値を反映させた公共調達の可能性～人権尊重の対応を契機として～

本年4月の閣議決定において、政府調達に人権尊重の規定を明記する旨の方針が示された。もっとも、これまで、こうした対応は個別法や公契約条例など、調達者の自主的な判断に委ねてきており、人権尊重の具体的な要件をどのように定めるかという点については、今後の課題として残されている。

欧米では、価格や品質以外の社会的価値を重視し、入札の参加資格要件や事業者の選定過程において価格以外の要素を積極的に加味することが一般化されつつある。本分科会では、まず欧州の動向を踏まえ、

自治体の公共調達に人権尊重の規定を盛りこむことの必要性とその際の論点を整理する。しかし、それだけにとどまらず、公共調達に社会的価値を積極的に反映させる可能性にも踏み込んで検討してみたい。そのため、制度上の対応に加え、実際に価格以外の要素を契約に盛りこむ際の運用上の論点についても議論したいと考えている。

- ◎パネリスト 長谷川 雅子（一般財団法人CSO ネットワーク事務局長・理事）
- ◎パネリスト：田中 竜介（ILO 駐日事務所プログラムオフィサー／渉外・労働基準専門官）
- ◎パネリスト：松村 享（名古屋学院大学法学部教授）
- コーディネーター：原田 晃樹（立教大学コミュニティ福祉学部教授）

<昼食・休憩 (12:30～13:45) >

<ポスターセッション・コアタイム (12:50～13:30) >

<分科会 第2部 (13:45～15:45) >

**分科会 5 地方公務員の定年延長と役職定年制を考える
～組織活力低下の危機にどう向き合うか～**

令和5年4月1日から、令和3年の改正地方公務員法が施行される。定年が、従来の60歳から2年に1歳ずつ、65歳まで引き上げられていくことに注目が集まるが、規定された『管理監督職勤務上限年齢制（いわゆる「役職定年制」）』にも、十分な配慮と検討・対応が必要であると考えられる。

制度運用の開始にあたって、自治体現場ではこの制度改正をどのように捉え、どのように対応しようとしているのか、そしてそこにはどのような課題が想定され、或いは待ち構えているのか、情報の共有と、議論・協議をしておきたい。

- ◎パネリスト 森田 修康（東京荒川区管理部職員課長）
- ◎パネリスト 堤 直規（東京都小金井市子ども家庭部長 キャリアコンサルタント（国家資格））
- ◎パネリスト 大谷 基道（獨協大学法学部教授）
- コーディネーター 猪狩 廣美（聖学院大学政治経済学部特任教授）

分科会 6 地域公共交通（ローカル鉄道）の再編における分権と自治

コロナ禍による公共交通機関の利用者急減は、鉄道事業者の内部補助によって不採算路線を支えてきた従来体制の脆さを浮き彫りにした。鉄道事業者は不採算路線を次々と炙り出し、政府も集権的な手段を示唆しながら各地域に公共交通の維持・再編のための新たな方策を作成するよう迫っている。とはいえ、地域公共交通の維持・再編をめぐる合意形成は、縮退局面（人口減少・限られた財源）の中、複雑な利害関係の絡む数多くのアクター間で、経済的効率性や福祉ニーズなど多様な側面への配慮が求められる極めて困難な作業である。本分科会では、まず地域公共交通の維持・再編をめぐる中央地方関係の動向とその課題を共有したうえで、当該合意形成をどのように進めていけばよいのか、経験者の報告をいただきながらともに考えたい。

- ◎コーディネーター・基調報告 其田 茂樹（地方自治総合研究所常任研究員）
- ◎パネリスト 大塚 良治（江戸川大学社会学部現代社会学科教授）
- ◎パネリスト 上野 右貴（喜多方市役所）

分科会 7 少子高齢化・人口減少時代の「創造都市・創造農村」

2000年代初頭から、横浜市、金沢市などの先進自治体ではじまった創造都市政策は全国に広がり、創造都市ネットワーク日本加盟団体数も2022年には165に達した。2004年に創設されたユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市数も、2008年の神戸を皮切りに10都市に達している。

近年は過疎地や小規模自治体での取り組みも多く見られるようになり、文化や観光、創造産業に着目した自治体政策は少子高齢化・人口減少時代にその重要度を増していくと考えられる。

本分科会では、①文化振興、産業振興、まちづくりなどの異なる領域をまたぐ特徴を持つ創造都市政策の推進体制と政策評価の手法、②地域固有の文化資源の掘り起こしとその手法、③アーティスト・クリエイターやNPO等市民団体など民間の担い手へのサポートのあり方、④創造都市ネットワーク日本のような自治体間協力あり方などの論点から自治体政策としての創造都市政策について検討する。

- ◎パネリスト 野田 邦弘（横浜市立大学客員教授）
- ◎パネリスト 稗田 猛典（元・北九州市役所）
- ◎パネリスト 竹見 聖司（丹波篠山市役所）
- コーディネーター 鈴木 伸治（横浜市立大学教授）

分科会 8 (地元企画) 子どもの権利条例と子どもを取り巻く「いま」

「まず、おとなが幸せにいてください。おとなが幸せじゃないのに、子どもだけ幸せにはなれません」これは、川崎市こどもの権利条例制定時に、当時の子どもたちから発せられたメッセージです。

1994年の子どもの権利条約批准以降、子どもの権利を具現化していく施策は自治体为先鞭をつけてきました。いじめ、不登校、体罰、児童虐待、外国籍の子どもたちへの支援等、子どもに関する問題は、その時々で形を変え、いまなお多くの課題を抱えています。また一方、コロナ禍における教育現場の混乱や少子化の加速、育児不安の拡大など、大人社会が抱える問題の方がより大きいようにも思われます。

こども家庭庁が設置され、こども基本法が施行されるなど、わが国においてもようやく子どもを中心に据えた政策が動き出しました。川崎市こどもの権利条例やそれに関する取り組みを題材にしつつ、現代社会における「こども」と「おとな」のいまに焦点を当てていきます。

- ◎パネリスト 山田 洋志 (教育系ITベンチャー 株式会社ガッコム代表取締役社長)
- ◎パネリスト 鈴木 健 (川崎市ふれあい館副館長)
- ◎パネリスト 圓谷 雪絵 (川崎市こども未来局青少年支援室子どもの権利担当専門調査員)
- コーディネーター 甲斐田 万智子

(認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事、文京学院大学教授)

分科会 9 (公募企画) 議会からの政策立案をすすめるには～執行部と議会はどう協働するか～

二元代表制のもと、議会は首長提案の議案に賛否を示すだけでなく、議会自らが政策提案をすることで首長との善政競争をすすめ、より住民に必要な政策実現を図ることができます。

しかし、実際には議会側から政策立案、政策提言をしようとするとき、議会と執行部が対立するのではなく、いかに協働・協調できる体制をつくるかが鍵になってきます。

当分科会では、全国の地方議会で議会側からの政策立案などに先進的に取り組んでいる自治体議会関係者や首長とともに、二元代表制の善政競争のためには議会と執行部がどのような関係にあるべきか、具体的な取り組みの中から学び、考えます。

- ◎パネリスト 佐藤 健 (飯田市長)
- ◎パネリスト 菅原 由和 (奥州市議会議長)
- ◎パネリスト 小幡 沙央里 (横須賀市議会副議長)
- ◎パネリスト 田村 琢実 (埼玉県議会議員)
- コーディネーター 前泊 美紀 (那覇市議会議員)

ポスターセッション

8月26日(土) 10:00～16:00

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取り組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

コアタイム(12:50～13:30)には出展者が展示内容について解説します。

エクスカーション

8月26(土)、27日(日)

◎Aコース(8月26日～27日)

川崎臨海部の変貌、工場夜景とキングスカイフロント、多文化共生のまちづくりコース

(1日目)

カルツかわさき前 == 川崎大師【夕食・自由拝観】 == 川崎工場夜景ツアー
16:30 集合・出発 17:00～18:00 観光バス(見所で下車)

== かわさきマリエン == 東扇島東公園 == 東急REIホテル【宿泊】
展望フロアから夜の川崎港を見学。 21:30

(2日目)

東急REIホテル【朝食】 == キングスカイフロント == 川崎市ふれあい館
8:50 出発 9:00～10:30(レクチャー・見学) 11:00～12:00

※キングスカイフロントからふれあい館はタクシーに分乗して移動します。

◎Bコース(8月27日)

三浦半島の「小網代(こあじろ)の森」を歩く!源流から海までまるごと保全された生態系を体験するコース

京浜急行電鉄三崎口駅改札 == 小網代の森インフォメーションスペース ==

9:30 集合・出発 路線バスで移動 10:00～ 概要説明

=== 小網代の森を散策

10:30～12:30 現地解散

エクスカージョンのご案内<8/26(土)、27日(日)> (募集型企画旅行)

川崎市の歴史とまちづくり、神奈川県を深く知っていただくため、自治体学会地元実行委員会ならではのエクスカージョンを川崎市観光協会とも協力をして企画しました。

10頁大会申込W EBサイトにてお申込みいただくか、別紙大会申込書のエクスカージョン希望欄にご記入、FAX又はEメール又は郵送にて大会事務局へお申し込みください。

※Aコースは、募集型企画旅行として、名鉄観光サービス㈱にも直接申し込む必要があります。

[A] 8月26日(日) 16:30 ~ 27日(日) 12:00

川崎臨海部の変貌、工場夜景とキングスカイフロント、多文化共生のまちづくり

◎旅行企画実施：名鉄観光サービス㈱商品販売部 03-5759-8400 (平日9:30~18:00)

[B] 8月27日(日) 9:30 ~ 12:30

三浦半島の「小網代(こあじろ)の森」を歩く！源流から海までまるごと保全された生態系を体験。

※各コース最少催行人員に満たない場合は、催行中止となります。

催行中止の場合、8月10日(木)までにご連絡いたします。

※受付はお申し込み順とさせていただきますので、お早目にお申し込みください。

※一部徒歩の行程がございます。歩きやすい服装、靴でご参加ください。

※悪天候や交通事情で、行程の一部を急遽変更する場合もございます。予めご承知おき願います。

[A] 川崎臨海部の変貌、工場夜景とキングスカイフロント、多文化共生のまちづくりコース	
◎ご旅行代金：お一人様 22,000円 ◎募集人員30名(最少催行人員20名) 添乗員：なし 旅費に含まれるもの：観光バス代、夕食代、東急REIホテル宿泊料(1泊朝食付)、ガイド料	
日時	行程
8/26 (土)	カルツツかわさき前 二二 川崎大師【夕食・自由拝観】二二 川崎工場夜景ツアー 16:30集合・出発 17:00~18:00 観光バス(見どころで下車) 二二 かわさきマリエン 二二 東扇島東公園東急 二二 東急REIホテル【宿泊】 展望フロアから夜の川崎港を見学 21:30
8/27 (日)	東急REIホテル【朝食】二二 キングスカイフロント 二二 川崎市ふれあい館 8:50 出発 9:00~10:30(レクチャー・見学) 11:00~12:00 ※キングスカイフロントからふれあい館はタクシー分乗して移動します ※東急REIホテルは正式には、川崎キングスカイフロント東急REIホテルです。
<p>京浜工業地帯の石油化学コンビナートの核心部。市民ガイド「川崎工場夜景ナビゲーター」がとっておきの夜景スポットを案内します。夜は、多摩川の豊かな自然に包まれた地球にやさしい世界初の水素ホテルに宿泊します。</p> <p>キングスカイフロントは、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点。羽田空港に隣接する約40haに及ぶこのエリアには、健康・医療・福祉、環境といった課題の解決に貢献する研究機関が立地します。</p> <p>日本人と韓国・朝鮮人を主とする在日外国人が、市民としてこどもからお年寄りまで相互にふれあいをすすめることを目的として、互いの歴史・文化等を理解し、差別をなくし、共に生きる地域社会を創造していくため</p>	
	
[B] 三浦半島の「小網代(こあじろ)の森」を歩く！源流から海までまるごと保全された生態系を体験するコース	
◎ご旅行代金：お一人様 1,500円 ◎旅費に含まれるもの：ガイド料 ◎募集人員30名 歩きやすい服装、靴で雨具持参。少雨決行しますが、荒天時や施設の安全確保ができない場合には中止することもあります。	
日時	行程
8/27 (日)	京浜急行電鉄 三崎口駅改札 二二二二 小網代の森インフォメーションスペース 9:30集合・出発 路線バスで移動 10:00~概要説明 二二二 小網代の森を散策 10:30~12:30 現地解散
<p>小網代の森は、三浦半島の相模湾に面した約70haの森です。谷に沿って流れる「浦の川」の集水域として、森林、湿地、干潟及び海までが連続して残されている、関東地方で唯一の自然環境と言われています。かつてゴルフ場の開発計画が持ち上がりましたが、関係者の協力により保全が図られ、平成26年には散策路等の整備により一般開放されました。NPO法人小網代野外活動調整会議スタッフのガイドをお聞きし、行政、NPO、企業の連携の歴史を学ぶとともに、貴重な自然を体験しましょう。</p>	
	

自治体学会事務局からのお知らせ

◆川崎大会における宿泊について

従来、参加申し込み時に受付をしていました宿泊施設の予約・斡旋は、川崎大会では行いませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、川崎大会の会場となる「川崎市スポーツ・文化総合センター（カルッツかわさき）」、「川崎市教育文化会館」は、JR川崎駅、京急川崎駅から徒歩圏内にあり、川崎駅周辺には宿泊施設は数多く点在しています。

大会への参加を予定されている方は、各自で、宿泊施設を早目に確保されますよう、お願いいたします。

◆参加者の受付について

8月25日（金）、26日（土）

カルッツかわさきに設置します。設置場所等は当日ご案内します。

参加する方は、必ず、受付を済ませてください。

◆大会資料について

- ・プログラム集は印刷物としては発行せず、学会ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。
- ・当日資料集についても印刷物としては発行いたしません。大会への参加を申し込まれた方には、資料の取得（ダウンロード）方法につきまして、大会数日前までにメールで連絡いたします。
- ・必要な資料は、ご面倒でも、各自でプリントアウトするなどして、ご持参願います。

◆自治体学会総会について

- ・自治体学会の総会は、9時30分から10時15分までの予定で、「カルッツかわさき」で行います。（会場は当日表示します。）
- ・総会は、学会の事業計画案や予算案等を審議する重要な会議です。分科会の打合せなど支障のない方はご出席下さい。25日に受付を済ませていない方は、総会後に受付を済ませてください。

◆研究発表セッション、分科会、ポスターセッションの会場について

- ・2日間とも、「川崎市スポーツ・文化総合センター（カルッツかわさき）」、「川崎市教育文化会館」の会議室各室を使用して開催します。
- 会場案内を受付で配布いたします。

◆コロナ対策について

- ・大会当日、発熱等で体調の悪い方は参加を中止してください。
- ・場内ではマスクの着用をお願いします。また、大声等での会話はお避け下さい。
- ・会場内には消毒薬を配置しますので、適宜ご利用ください。

◆昼食会場について

- ・川崎駅周辺には多くの飲食店があるものの、会場から往復すると30分程度を要します。会場周辺の飲食店は多くありません。昼食時間帯は混雑が予想されますので、昼食を持参されるか、弁当の予約をお願いします。
- ・昼食可能な場所は、当日配布する会場案内をご覧ください。

◆喫煙場所について

- ・喫煙可能な場所についても会場案内に表示します。

参加申込について

今年度の自治体学会大会は、4年ぶりに現地での開催として、川崎市で行われます。参加の申込は、従来の旅行事業者への業務委託ではなく、事務局が受付窓口となります。

参加を希望される方は下記の方法により申し込んでください。

<参加申込方法>

- 開催案内に示してある「大会参加申込書」により、必要事項を記入の上、メール、FAX、郵送にて事務局へお送りください。

申込書のファイルは学会ホームページにも掲載しています。

- ・E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org
- ・郵送 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8F
- ・FAX 03-5577-3187

- 次のサイトからも申し込むことができます。グーグルフォームのアンケート形式の回答により申し込んでください。

申し込み後 送信をクリックすると回答状況が、指定のアドレスに送付され確認ができます。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScONNpH6X5iV74K3CBba_PArW1oIU_Ghy4DJwvKW4h7UOY1qA/viewform?usp=sf_link

<https://forms.gle/jQMoA9hp9RhSKT7E8>



右のQRコードからも申し込みが可能です。

- 参加申込期限は、2023年8月6日（日）です。
- 参加費は次のとおりです。（1日のみの参加も同額です。）
会 員 3,000円
非会員 6,000円

なお、参加費について、自治体学会発行の領収書が必要な方は、直接自治体学会事務局宛にお申し込みください。

- ・E-mail メール送付先：jichitai-soumu1986@jigaku.org

<参加費の振り込み>

- 大会参加費、エクスカーション参加費、弁当代については、8月14日(月)までに、振込手続きをお願いします。
- 次のいずれかの口座へ振込をお願いします。振込手数料は参加者負担となりますのでご了承ください。
- 参加費の入金後、公務等の都合により参加できなくなった場合は、事務局に8月18日(金)までにご連絡ください。

【振込先口座】

- ① 三菱UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金 口座番号：0378416
口座名義 ジチタイガックイ 自治体 学会 リジチョウ 理事長 アベ 阿部 マサキ 昌樹
- ② ゆうちょ銀行 ゼロイチハチ 〇一八 支店 口座番号：0210789
口座名義 ジチタイガックイ ジチタイガックイ

<エクスカーションAコース参加の方へ>

- エクスカーションAコースは、募集型企画旅行として、名鉄観光サービス(株)が実施します。そのため、エクスカーションAコースの参加費は、下記の口座に振込をお願いいたします。

- ① 三菱UFJ銀行 新東京支店 普通預金 口座番号：3318543
- ② みずほ銀行 第五集中支店 普通預金 口座番号：0170543

口座名義はいずれも、メイテツカンコウサービス(カ)です。

募集型企画旅行の場合の条件書については、下記のURLかQRコードからご覧いただけます。ご参考にしてください。

https://www.mwt.co.jp/info/joken_jpn.pdf?_ga=2.180228900.16365489.1687943738-810853501.1626248389



<参加証について>

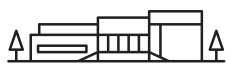
- 参加費の入金が完了した方には、大会参加証等をお送りします。この参加証は大会当日にご持参ください。

(大会に関する問い合わせ先)

自治体学会事務局 杉渕

電話 03-5577-3187

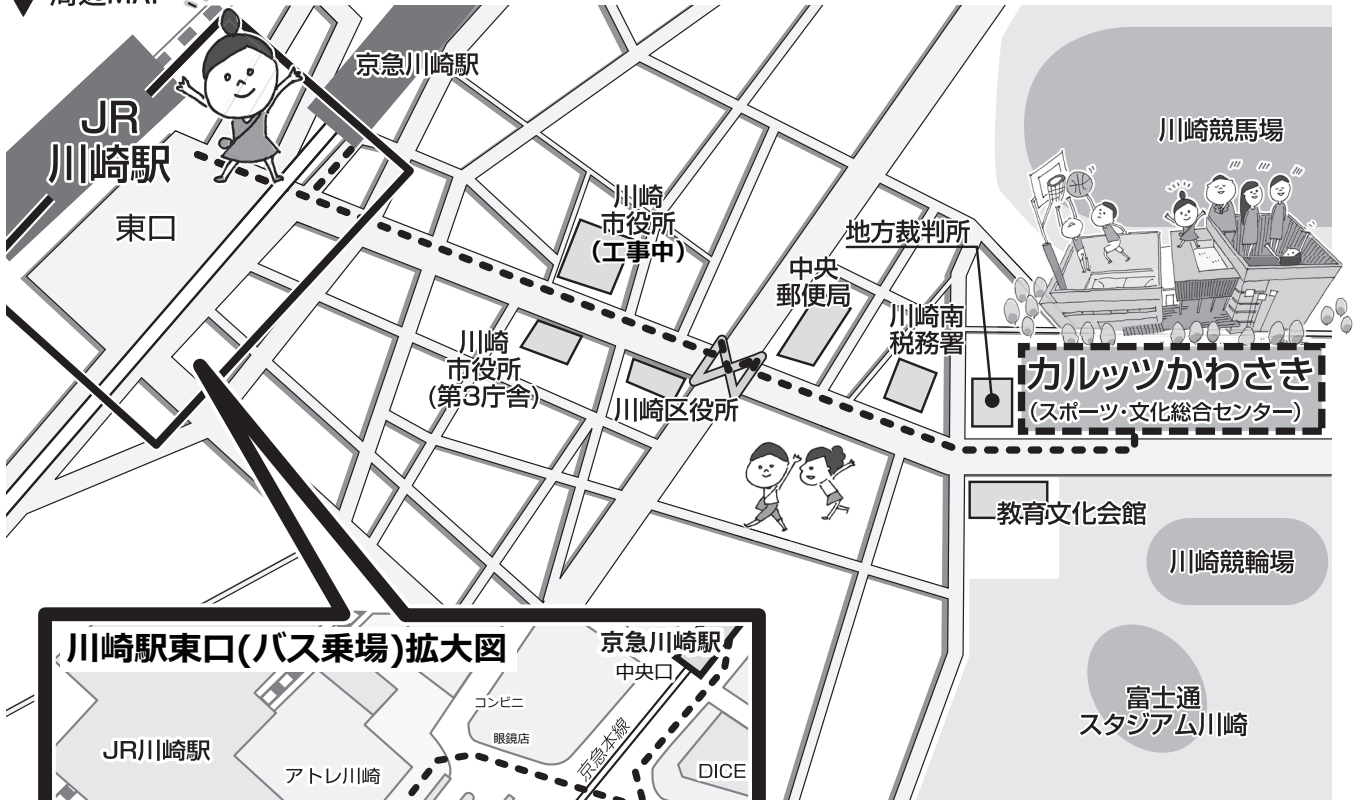
E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org



カルッツかわさき アクセスMAP

川崎市スポーツ・文化総合センター

周辺MAP



※ - - - - は徒歩ルートです。

電車：JR川崎駅・京急川崎駅より徒歩15分

バス：川崎駅東口バスターミナルより乗車5分
「教育文化会館前」下車

・川崎市営バス
(系統番号：川04・川05・川07・川10・川13・川15)

・臨港バス
(系統番号：川02・川03)

※主なバス乗り場：① ② ③ ④ ⑤

駐車場は数に限りがありますので、ご来館の際は、公共交通機関などをご利用ください。

(カルッツかわさきパンフレットより)

申込日 2023年 月 日

受付番号

第36回全国自治体政策研究交流会議・第37回自治体学会 川崎大会 申込書<大会参加等>

大会参加のため必要な範囲内の個人情報提供について同意の上、以下の通り申し込みをします。

都道府県名	所属団体・部署名	フリガナ	フリガナ
書類送付先 いずれかに	<input type="checkbox"/> 所属先 <input type="checkbox"/> 自宅	郵便番号	フリガナ
連絡先	TEL	FAX	E-Mail

No.	参加者 名簿へ の掲載 どちらか <input checked="" type="checkbox"/>	都道府県	所属団体・部署名	フリガナ 氏名	自治体学会 会員種別 会員・非会員どちらか 会員は会員番号記入	政策研究 交流会議		自治体学会				エクスカージョン		弁当
						参加費無料	参加費	参加費【会員】3,000円 【非会員】6,000円	[A] 参加費 22,000円	[B] 参加費 1,500円	参加費 1,000円			
例	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	東京都	東京都〇〇区〇〇課	アズマ タロウ 東 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 会員番号 1234	8/25(金)	8/25(金)	8/26(土)	8/26(土)	8/27(日)	8/27(日)	8/26(土)	8/26(土)	
1	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可					16:45~ 18:15	18:45~ 20:00	9:30~ 10:15	10:30~ 12:30	13:45~ 15:45	26日16:30~ 27日12:00	26日16:30~ 27日12:00	9:30~ 12:30	
2	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可					研究発表セッ ション	表彰式・ 情報交換会	総会	分科会 第1部	分科会 第2部				
3	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可					○	A	○	○	1	7	○	○	×
4	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可													
5	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可													



※下記のURLから申込みます。
<https://forms.gle/QMoA9hp9RhSKT7E8>
 申込み用QRコード

※ 6名以上の場合は、コピーをして対応してください。お問い合わせは下記の自治体学会事務局にご連絡ください。

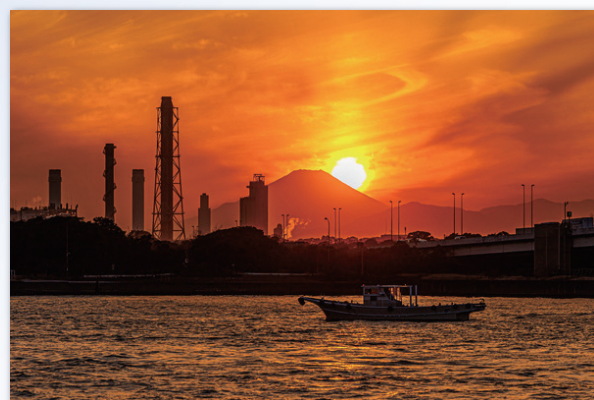
(通信欄)

自治体学会事務局
 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー颯ビル8F
 TEL&FAX 03-5577-31 E-mail jichitai-soumu1986@jgaku.org

「神奈川・川崎から問う 自治・地域の未来」



ボッチャを楽しむ



ダイヤモンド富士



昔日の風に煌めいて



小網代の森 (山田氏提供)

(写真提供：川崎市、川崎市観光協会フォトギャラリーより)

第 36 回 全国自治体政策研究交流会議 川崎大会 問合せ先

川崎市総務企画局都市政策部地方分権・特別市推進担当
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL：044-200-0386

第 37 回 自治体学会川崎大会 問合せ先

自治体学会事務局
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8F G
TEL/FAX：03-5577-3187 HP：<https://www.jigaku.org/>